

舵輪

K A I W O M A R U

舵輪

新カイルマリン誕生

7月20日及び8月8日の総帆展帆をもつて、新たに6名の展帆ボランティアが誕生しましたので紹介します。

- (敬称略)
- 長森 清 (富山市)
- 山本 広宣 (富山市)
- 塚田 雅士 (高岡市)
- 沢本 ひとみ (富山市)
- 高木 良三 (新湊市)
- 黒崎 光夫 (新湊市)

SPACING THE MAIN BRACE

『荒天と海王丸』
 帆船にとつては風こそ大時化。こんなことを聞いたことがあるかもしれませぬ。風を主動力として推進する帆船は風がなければ1マイルどころか、1メートルも進むことはできません。小生も帆船に乗船中、海面を泳ぐアホウドリに追い越されたり、果てはマンボウにさえ追い越され悔しい思いをしたことが何度もあります。こんな帆船を我々は原始力船と言います。(小生だけかな...?)

それはさておき、いくら風がある方がいいとは言つても、本当の時化には遭いたくないものです。海王丸が遭遇した中で記録に残る最大の荒天は、昭和一五年種子島東方約一五〇キロ付近で遭遇した台風といわれています。

最低気圧は755.3 hPa 風力12(風速36.9m/s)以上、このとき小笠原測候所の風速計は風速60m/sで壊れ、海王丸付近の風もこれに近かつたと言われています。展帆していたセイルは、バーンという大音響とともに一瞬にして吹き飛ばされ、セイル周囲のポルトロープだけが残り、畳帆していたセイルもヤードの上面に出ている部分は表面をすべて吹きちぎられたそうです。ローリング(横揺れ)は左右合計5度にも及んだそうです。

8月8日の総帆展帆では、畳帆時にいとも違うシーガセットという方法でセイルを固縛しました。これは、これからの台風時期に備えて、セイルを傷めないうようにするための処置です。いつもの

固縛法はハーバースケットといい、文字通り港にいるときのやり方で、見栄え良くする方法です。シーガセットは、航海中、強風でセイルがばたつかないようにするための実用的な縛り方です。前述の台風のような時は、ガセットの他にロバンドなどで増し締めします。荒天時には、甲板上にライフライン、文字通り命綱が張り渡され、実習生・乗組員ともこれにつかまり当直に当たります。

甲板上下も油断はできません。横揺れしたとき、横波をかぶれば波にさらわれてしまいます。実際に、小生の目の前で横波に足下をすくわれ、あわやと言うところまで、ハンドレールに救われた甲板員もいました。

また、後ろから追い波がかぶさり、操舵装置や当直者をさらつてしまうという大変危険な状態になることがあります。これをブーピングといい、荒天を乗り切るときに使う手段の一つに順走法と言つて、風とうねりを後ろから受けながら低気圧中心から逃げる方法があります。海王丸や日本丸には舵輪を覆うようにフードがあります。このブーピングから当直者と操舵装置を守るためのもので、日本の練習帆船の特色の一つといわれています。

荒天時はマストに登るのも大変です。財団では右舷を登艦舷として固定していますが、実際には風上舷を登艦舷としています。帆船は必ず風下側に傾くし、ヤードをいつぱいに開いていると風下側は登りにくくなります。強風時、風下側は垂直に近いシユラウドから引き剥がされるようになります。逆に風上側では傾斜が緩くなつたシユラウドに押さえつけられるため断然登りやすくなるからです。荒天時には、いつそうこの傾向が強くなります。これに横揺れが加わるともっと大変です。ロイヤルヤード付近だと、片舷に十度の横揺れでさえ、3mもの水平距離を行つたり来たりすることになります。

時化の時は本当によく走りますが、船に弱い小生としてはやっぱり時化ない方がいいですね。みなさんも次回展帆の折には、「風上風下で地獄極楽」この標語を思い出しながら作業してみてください。

カイルマリンの申様

残暑の候 凹甲板で日光浴をしていたら、気がつくとき空に積乱雲がやってきた。もくもくと広がった入道のような雲が、目を開けた瞬間、まるで自分の顔を映したかのように思い、びっくりした。そういえば最近、娘(2歳)の前で知らぬ間に目がつり上がり、「パパちゃんニコニコは？」とよく注意を受ける。自分の顔は洗顔を歯磨きや髭を剃るときぐらいい見ない。普段の表情、笑つたり怒つたりしたとき、相手の反応はよく見るけれど、自分がどのような表情なのか、省みることは少ない。娘が私のまねをして時々冗談にもしかめっ面をするのを見て、反省している。

さて、今年度は海洋教室の団体参加申し込みが多く、多くの子供達と接する機会を得ることができ、色々勉強させていたにている。そこで、今回は「育児」をテーマに、世界の育児事情についてほんの少し調べてみた。(下表参照) どうか御参考までに。

展帆デラ

月日 気象 参加者 状態 行事等
 7月20日(祝) 南西後北東、3m、雨後晴 92名 ポートタックスクエアヤーズ、総帆 海王丸フェスティバル
 8月8日(日) 北、3m、晴 72名 スターボードタックスクエアヤーズ、総帆 海洋講座「北陸の海難から見た今後の課題」

係から

ポランテア番号448田中外志夫さんには、7月初め、御逝去されましたので謹んでお悔やみ申し上げます。

アンケート調査への御協力、貴重な御意見ありがとうございました。皆さんの御希望や御期待に応えられよう、可能な限り努力していきたいと考えます。今後、反省会等を十分に活用され、忌憚のない御意見等お願いいたします。

あとがき

猛暑の中での操帆作業、参加者の方々、お疲れさまでした。ベテランから新人への丁寧な指導等、微笑ましい姿も見受けられました。安全を最優先し、高所作業時間は極力短く、待機は風下側を徹底願います。

次にお会いするときは、少し涼しくなっているといいですね。

舵輪

K A I W O M A R U